



新学期に当たって

北海道静内高等学校長 加 澤 雅 裕

本校に着任して2年目となりました。一年間を振り返り、生徒諸君の落ち着いた学習・生活態度、部局活動に熱心に打ち込む姿勢、地域の様々なイベント等の積極的な参加などに日々感心しています。また、多少自画自賛ともなりますが、生徒の進路希望の実現や将来の自立に向けた、本校教職員の懇切丁寧な根気ある指導に頭が下がる思いです。

さて、4月に新年度を迎え、新1年次生の予備登校や始業式、入学式の際にお伝えしており、また、新聞等で報道されておりますが、本校は、この度の入学者選抜において新1年次生が159名となり、1学級相当以上の欠員が生じたため1学級減となりました。しかしながら、今年度の1年次生については、これまでと同様、特進クラス1学級を含めた5学級で展開していくこととさせていただきますことを改めてお知らせいたします。

本校では、基礎・基本の定着から応用力や探究心の向上に至る日々の授業を大切にするとともに、特別活動、生徒会活動、部局活動における積極的な参加や自己の能力の向上を促す指導を行うなど、これまで以上に、地に足のついた揺るがない教育を実践していきます。また、文部科学省の研究指定事業である「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの学習指導方法の改善の推進のための実践研究（SCRUM）」の道南圏域の拠点校として先進的な授業改善の実践研究に取り組み、全道の他の高校への普及に努めていきます。

生徒・保護者・地域の皆様には、引き続き静内高校の教育活動にご協力をいただきますようお願いいたします。



平成31年度入学式

教頭 大木 康弘

4月8日(月)春らしい陽気の中で入学式が行われ、真新しい制服に身を包んだ159名の生徒が入学を許可されました。担任の呼名に対して大きな声で返事をして起立する新入生の姿に「静高のよき伝統を受け継いでくれるであろう」という思いを持ちました。また、入学者を代表して「勉学に励み、学校の発展に寄与します」と宣誓した田中碧さん、「地域社会の模範としての交通安全運動の推進者として責任を果たす」と交通安全宣言した原文二さんの力強い声の中にも「平成31年度入学生がこれから静高プライドを持って自分たちの将来や地域の未来を切り開いていく人材となってくれるであろう」との期待を持つことのできた入学式でもありました。高校生活の中では楽しいことだけでなく、辛いことや困難なことも有ると思います。しかし、すべての経験がこれからの生きる糧となると思います。是非、静高という舞台上、様々な挑戦をし、やりきってくれることを願っています。



成長する1年間に

教務部長 高橋 敬一

新入生、保護者の皆さん入学おめでとうございます。いよいよ新しい時代の幕開けになりました。令和の時代はどのようになるのでしょうか。皆さんの取り組み次第でどのようにも変えることが出来るかもしれません。不安なこともあるでしょう、人間の不安は常にまだ見ぬ未来にあります。まだ来てもない未来に不安を抱くなら希望を抱いた方が良いでしょう。明日の希望に向かって、今日一日全力で頑張る。目の前のことを頑張る。この積み重ねが未来に繋がっていきます。

目標はありますか？人間は弱い生き物です。黙っていると楽な方、楽な方へと進んでいきます。そのような経験をしたことはないですか？楽な方に正解はないことが多いです。迷ったら苦しい方へ進む。進む方向性のブレを防いでくれるのは目標です。目標を定めればその方向へ進んでいきます。高校時代は意外と短いです。皆さんの貴重な高校時代を無駄な時間にしないう有意義な「時」にしてください。生徒の皆さん自身が気づいていない、自分の可能性があります。その可能性を自分自身で引き出してみてください。先生方は応援しています。1年間が終了するときに成長した皆さんの姿を見たいと思います。頑張ってください。



静内高等学校に入学して

1年1組 角 幸志郎

だんだん高校生活にも慣れてきました。これからは学校祭や球技大会などいろいろな行事があります。新しい仲間たちと協力し、楽しみながら一生懸命頑張っていきたいと思います。

「当たり前の方が当たり前ができる」ように、勉強や部活動などいろいろなことに前向きに取り組みたいです。

静高生としての自覚を持ち、自分の行動に責任を持って、これからの高校生活を有意義に過ごしていきたいです。



ガイダンスブック しずこうシラバス

静内高校では多様な進路希望に対応するため、単位制を導入しています。単位制は科目選択の幅が広いことが特徴です。単位制の学校の生徒が特にしなければいけないことは、自分に関する理解を深め、自分の適性に応じてこれからの道を選ぶことです。科目選択をするためには自分が深めたい学びは何か、将来の進路に必要な学びは何かなどを考える必要があります。しかし、自分ひとりで考えることは難しいことなので、静高ではガイダンスを充実させています。例えば、自分を見つめ将来を考え、科目を選択する時の道しるべとなるのが「ガイダンスブック」です。

この中には科目選択に関する説明だけでなく、進路のことや学校生活のさまざまな決まりやしくみなどが書かれている、静高での生活のガイドブックです。また、「しずこうシラバス」はこれからの学校生活を見通すために作られた予定表です。その中には、HR活動や進路行事、模擬試験や検定試験など学校で行われている活動のほとんどが記載されています。これを見ることで、生徒はいつ、何を、その活動でどんな力を身につけなければいけないのかを知ることができます。ですから、「しずこうシラバス」にもこれからの学校生活のガイダンスの機能があるのです。この他にも静高はさまざまなガイダンスを行い、全力で生徒の成長をサポートしていきます。

着任者の紹介

職名	氏名	教科
教頭	大木 康弘	
教諭	木村 滋雄	英語
教諭	今野 寛之	国語
教諭	小笠原 あい	国語
教諭	五十嵐 美野莉	理科
教諭	末武 大介	理科
教諭	小早川 夕輔	国語
教諭	城野 海舟	商業
事務主任	松浦 登志	



新入生歓迎会

4月12日(金)に「新入生歓迎会」が開催されました。新1年次生159名を歓迎する、今年度最初の生徒会行事でした。1年次生が1日でも早く学校のことを知り、行事や課外活動に充実した日々を送ってもらえるように、春休みから執行部が企画・リハーサルなどの準備を進めてきました。

生徒会による行事説明や、本校独自の総合行事制度である「会長杯」の説明に1年次生は真剣に耳を傾けていました。生徒会企画では、新1年次団の担任の先生方の意気込みを中心に作成された動画から、ステージ上でのダンスにより、会場の盛り上がりはピークに達しました。歓迎会のメインともいえる部局ステージ発表は、吹奏楽部の演奏に始まり、各部のオリジナリティのあふれる紹介に1年次生は圧倒されていました。終わりに1年次代表の大前晴菜さん(1年5組)による「自分で選んだ静内高校で人生のよい選択ができるよう頑張りたい」という素晴らしいお礼の言葉で締めくくられ、歓迎会は成功に終わりました。

この会をきっかけに、1年次生にはいち早く静内高校の一員として「静高プライド」を胸に刻んで活躍してくれることを期待しています。

<高体連・高文連・高野連支部大会の日程>

種目	期日	会場
野球(春季大会)	5/11~18	とましんスタジアム
陸上競技	5/22~24	室蘭市入江陸上競技場
バスケットボール	5/24~26	伊達市総合体育館 伊達・伊達緑ヶ丘高校他
バレーボール	5/16~18	苫小牧市総合体育館 市内高校体育館
卓球	5/22~24	苫小牧市総合体育館
ソフトテニス	5/21~23	苫小牧市緑ヶ丘庭球場
バドミントン	5/28~30	伊達市総合体育館
ハンドボール	5/23~24	室蘭市体育館
サッカー	5/21~24	苫小牧緑ヶ丘サッカー場 ラグビー場
剣道	5/23~24	駒澤大学
放送	5/17	苫小牧市文化会館
将棋(全道大会)	5/30~31	ちえりあ
馬術	未定	未定
水泳	5/25 か 6/1	室蘭市入江温水プール

5月の行事予定

日	曜日	内容
7日	火	交通安全・防犯教室
9日	木	高体連支部壮行会
11日	土	土曜授業(2h) PTA総会
13日	月	保護者向け進路説明会
19日	日	PTA町混合バレーボール大会
21日	火	生徒総会
28日	火	考査1週間前

学校だより「渺々万里」は静内高校ホームページからもご覧いただけます

<http://www.shizunai.hokkaido-c.ed.jp>

